

令和4年度 幼保小の架け橋プログラム事業

地方創生・DX推進対策特別委員会 資料2
令和4年（2022年）12月19日（月）
教育委員会事務局幼小中教育課

学びを



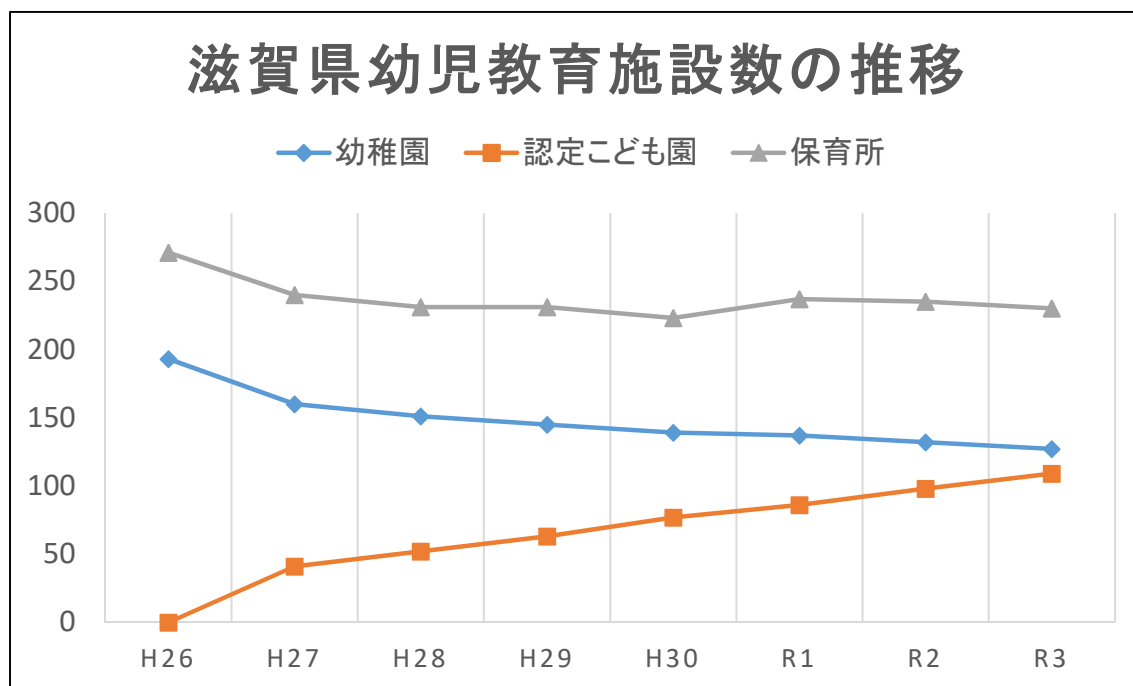
令和4年12月

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課 ¹

滋賀県の現状と課題

I 滋賀県幼児教育施設数の推移

- ・ 公私立幼稚園(幼稚園型認定こども園含む) 127園 (内私立21園)
公私立幼保連携型認定こども園109園 (内私立72園)
公私立保育所230園 (内私立162園)
- ・ 幼稚園数は減少傾向にあり、私立幼保連携型認定こども園と私立保育園は増加傾向。
- ・ 県内小学校(218校)には、様々な施設類型の幼児教育施設から入学してくるが、人口規模が大きい市については、居住市町を越えて入学する児童もいる。



令和3年度 幼児教育施設の割合(%)

	滋賀県	全国
幼稚園	27%	19%
認定こども園	23%	18%
保育所	49%	63%

幼小連携から接続のために

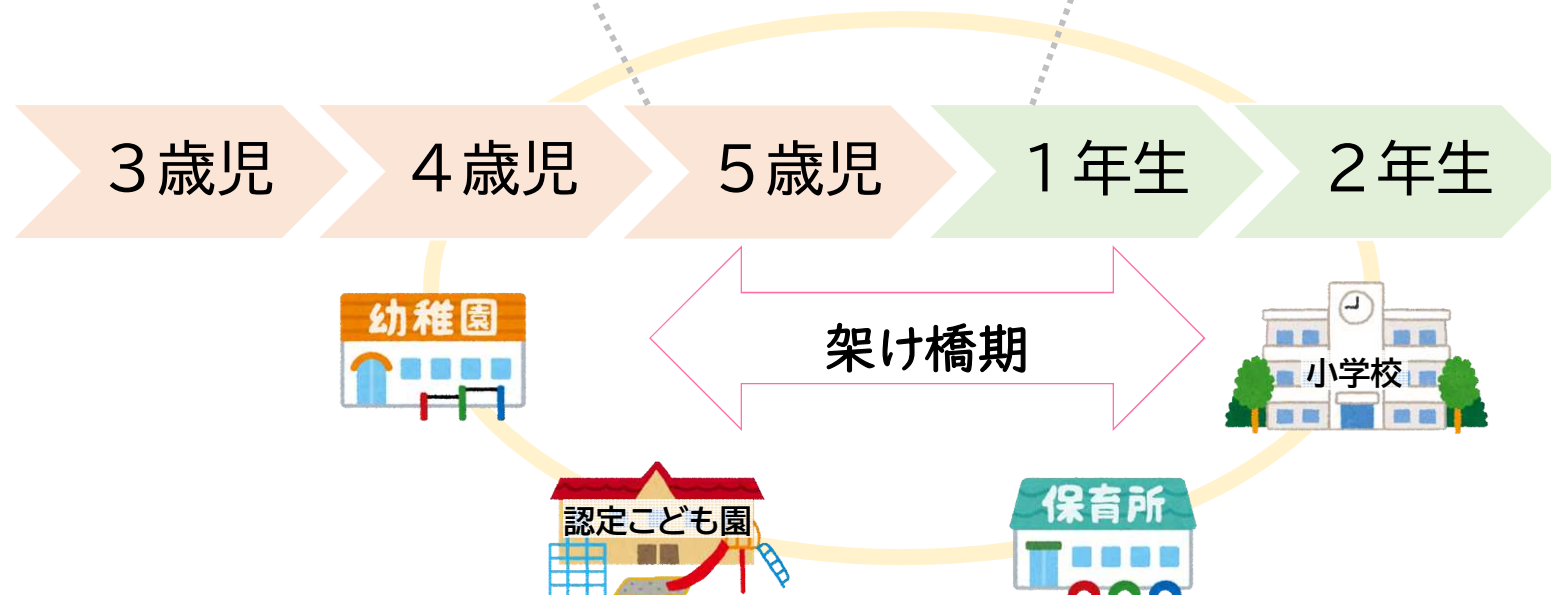
「架け橋期」の
教育・保育を
つなぐ

5歳児から小学校第1学年の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期です。この時期を「架け橋期」と言います。

この「架け橋期」では、幼稚園、認定こども園、保育所、小学校と多様な施設がそれぞれの役割を担っています。施設類型の違いを越えて連携することが大切です。

それまでの経験を生かしながら新たな課題を発見し、新しい方法を考えたり試したりして実現しようとしていく時期。

自分の好きなことや得意なことがわかっていく中で、1年生以降の学びや生活へと発展していく力を身に付ける時期



滋賀県の幼小接続に関するこれまでの取組

- 1 「学びに向かう力推進（育み）事業」による指定地域の取組
 - ・ 県独自の幼小連携事業を継続的に実施。
 - ・ 令和2年度からは、指定の小学校に加配教員を配置し、加配教員が保育に参加することにより小学校側の幼小接続への意識改革を図り、接続期カリキュラムの検証・改善。（2年間指定）
 - ・ 公開保育・授業研究会等の実施による研究成果の普及として公開研修会を開催。
 - ・ 指定地域の取組をまとめ県内へ発信。



- 2 県内各市町の幼小接続に係る指導主事による指導および支援



令和4年度 研究指定地域

大津市立瀬田北小学校区

湖南省立三雲小学校区

守山市立守山小学校区

日野町立南比都佐小学校区

彦根市立城東小学校区

「幼保小の架け橋プログラム事業」委託校区

継続
指定
(2年目)

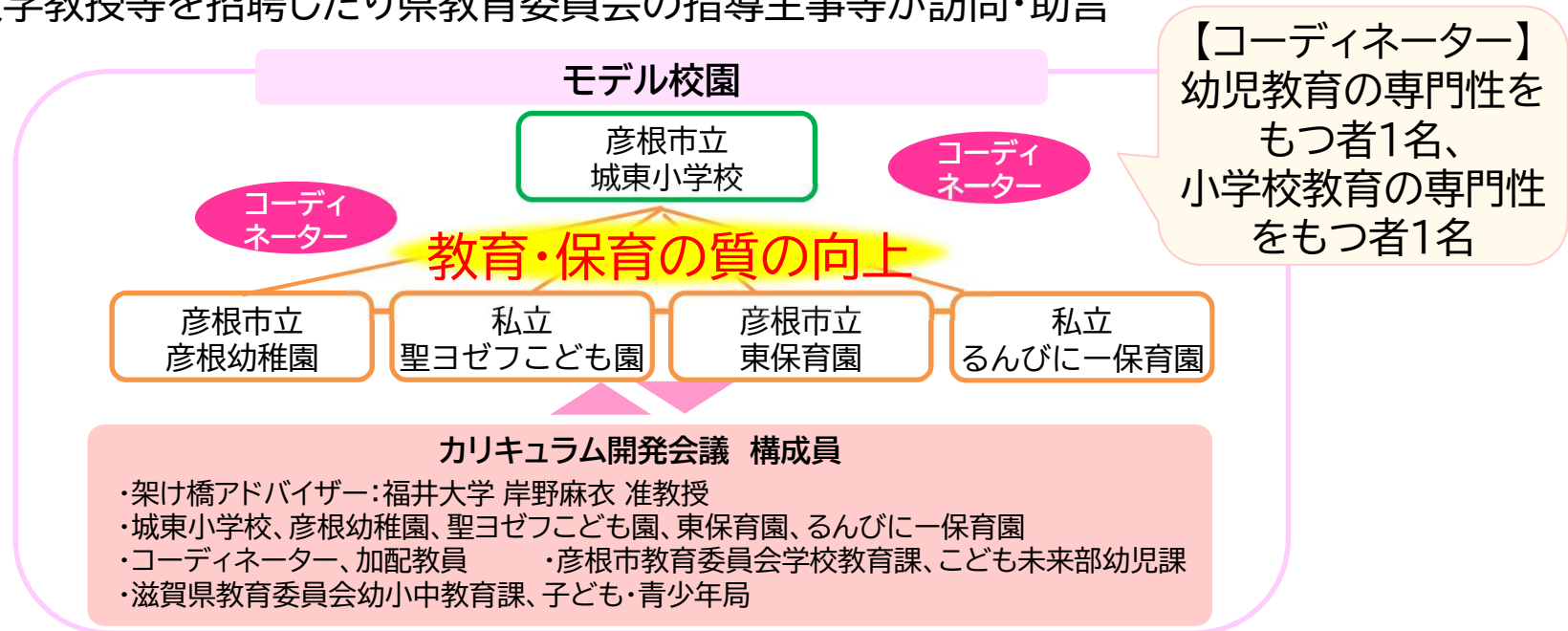
新規
指定
(1年目)

目的

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、中教審分科会「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論の成果を踏まえ、「幼保小の架け橋プログラム」の開発・実践をし、施設類型を越えた幼小連携を目指し、接続期の教育の質的向上を図る。

方策

- ・モデル地域(彦根市)の小学校および幼児教育施設にコーディネーターを配置し、保育・授業に参画し、状況を把握するとともに校種間の連携・接続をコーディネート
- ・「カリキュラム開発会議(年3回)」を実施し、カリキュラムを開発・研究
- ・大学教授等を招聘したり県教育委員会の指導主事等が訪問・助言



中央教育審議会初等中等教育分科会「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論の成果を踏まえ、

研究1年目は…

・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとした「架け橋期のカリキュラム」の開発

「架け橋期カリキュラム」を基に

研究2年目は…

・編成した「架け橋期のカリキュラム」の検証・改善
・教育方法の充実・改善

家庭・地域と共に子どもを育成

研究3年目は…

・教育方法の充実・改善
・家庭・地域との連携

モデル校園における取組状況

互いを知る

4月 事業説明
4月～6月 保育・授業参観の実施

期待する子ども像
を語る

6月27日 カリキュラム作成会議
7月28日 カリキュラム作成会議
8月5日 第1回カリキュラム開発会議
全員研修会

参観した子どもの姿
から語る

9月～11月 各校園公開保育・授業実施
文部科学省視察調査実施3日間

実践を振り返り
語る

10月15日 第2回カリキュラム開発会議

カリキュラムを
語る

1月24日 公開研修会
2月24日 第3回カリキュラム開発会議



今後の展望

「架け橋期」をつなぐ「語る」

期待する子ども像を語る



実践を振り返り語る



カリキュラムを語る



参観した子どもの姿から語る

3歳児

4歳児

5歳児

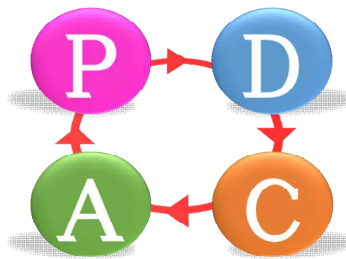
1年生

2年生

架け橋期

架け橋期のカリキュラムの編成・実施

カリキュラムの検証・改善を通じた保育・授業の質の向上



		5 歳 児			第 1 学 年		
時期		4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像		①期待する子どもの姿を明らかにする					
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿		②期待する子ども像に関連がある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を見出す					
と大切にしたいこと 単元環境 の先生 の関わり ドワキ		③発達段階を踏まえ、期待する子ども像に迫るために大切にしたいことを共有					
主な教育課程・予想される活動		④期待する子ども像に迫るための主な教育課程や予想される活動をデザイン					
		↓					
		実践記録へ					
振り返り		⑥実践を振り返り、教育課程や活動を見直す(加筆・修正)					

園と小が協働で策定



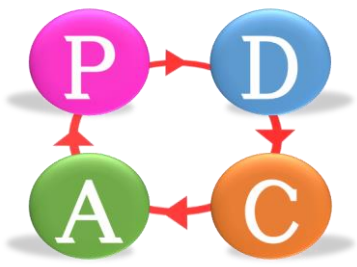
※「架け橋期のカリキュラム」は、幼保小の先生方が協働し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに策定できるよう工夫しましょう。
また、大切にしたい共通の視点を協議することで「期待する子ども像」に迫りましょう。

※共通シートと実践記録を使い、幼保小の先生方が一緒に振り返り、PDCAサイクルで検証・改善を図りましょう。

		5歳児			第1学年
時期	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	
期待する子ども像	<div data-bbox="241 239 492 274" data-label="Text"> <p>共通シートから転記</p> </div>				
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿					
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が見られた子どもの学びの姿	<div data-bbox="241 505 741 639" data-label="Text"> <p>⑤共通シートに記載している主な教育課程・予想される活動を通して、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が見られた子どもの学びの姿を描き出す</p> </div>	<div data-bbox="993 415 1748 505" data-label="Section-Header"> <p>子どもの学びの姿を描き出す</p> </div> <div data-bbox="780 525 1489 886" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1508 511 1903 886" data-label="Image"> </div>			
他園・小学校からのコメント	<div data-bbox="241 1200 697 1268" data-label="Text"> <p>⑦共通シートおよび実践記録を共有、コメントを記載し、フィードバック</p> </div>				

Point

共通シートには、実践を振り返るための「振り返り枠」を設けています。また、実践記録には、他園や小学校からのコメントを記載する「コメント枠」を設けています。年度途中に実践を振り返ったり、カリキュラムを改善したりするような持続的・発展的な取組を目指します。



滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート (案) 【 小学校区】 校園名 ()

時期	5歳児			第1学年		
	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像						
幼児期の終わりにあたってほしい姿						
と大切にしたいこと						
環境の関わり						
単元の関わり						
先生						
キー						
主な教育課程・予想される活動	Plan			Plan		
	Action			Action		
振り返り	Check			Check		

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」実践記録 (案) 【 小学校区】 園名 ()

時期	5歳児			第1学年		
	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像						
幼児期の終わりにあたってほしい姿						
と大切にしたいこと						
環境の関わり						
単元の関わり						
先生						
キー						
主な教育課程・予想される活動	Do					
	Check					

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」実践記録 (案) 【 小学校区】 校名 ()

時期	5歳児			第1学年		
	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12
期待する子ども像						
幼児期の終わりにあたってほしい姿						
と大切にしたいこと						
環境の関わり						
単元の関わり						
先生						
キー						
主な教育課程・予想される活動	Do					
	Check					

カリキュラム開発のために

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート（案）

【城東小学校区】校 園 名

		5 歳 児			第 1	
		4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10
持する ども像		心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心を持ち、失敗を恐れず行動す				
幼児期の 終わりに まで	自立心	やってみてできたことや、うまくできなくて困った経験を通して、もっとこうしたいと言う思いが強くなっていく。	考えたり工夫したり、失敗したりを繰り返しながら、自分なりに最後までやってみようとする。	できた満足感や達成感から更に積極的に自分の考えを出し、自信をもって諦めずに取り組むことができるようになる。	自分でできそうなことを見つけためしたり、やり直したりしながら、新しい生活に慣れる。	経験したことをもち、手ごたえを感じながら、できることを積極的に
	えの思考力	自分と友だちの思いや考えの違いに気付きながら色々な遊びや活動を楽しむ。	お互いの思いや考えを伝えたり聞いたりしながら、もっと楽しくしようと工夫するようになる。	グループやクラスで色々な考えを出し合い違いを受け入れて新しい考えを生み出そうとする。	新しい生活や環境に慣れ、小学校の学習や活動に興味をもつ。	お互いの考えの違いを感じたり、よさを感じながらに学ぶことを楽し
大切にしたいこと	単環境	子どもが手に取り、自らやってみたい、もっとこうしたいと思えるような場の工夫	自分で見て触れて感動できる豊かな体験の積み重ね	友達同士の関わり（異年齢交流を含む）が活性化する場づくり	期待感いっぱいの学びの環境	広がる つなが
	関先生の	好きな遊びに夢中になれる時間や場を充実させるような関わり	共感的な受け止めと関わり	個の思いを認め、つなげる	入学までの体験を把握し、触れたい、すぐ試したい材料・用具の配置	広がりつながり、用具の配置と教
	ドワー	やってみたい、もっとやりたい	様々な経験の積み重ね	友達とつながる、深まる	知ってる！ やりたい！	もっと もっと

作成する過程を大切に

完成を急ぐのではなく、
みんなで話し合うことを
大切にしよう！

保育や授業を参観したり、
事後研究会をしたりする中で、
再度検討しよう

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」について

「10の姿」についての考え方

- ★到達目標ではなく、方向目標であること
- ★1項目ずつ取り出して指導したり、評価したりするものではないこと
- ★全ての子どもに同じように見られるものではないこと
- ★それぞれの時期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、見られる姿であること



「知識及び技能の基礎」＝橙色・長破線 「思考力、判断力、表現力等の基礎」＝青色・短破線 「学びに向かう力、人間性等」＝ピンク色・一重線

健康な心と体	幼稚園生活の中で、 <u>充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出す</u> ようになる。
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、 <u>しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動する</u> ようになる。
協同性	友達と関わる中で、 <u>互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げる</u> ようになる。
道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、 <u>してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動する</u> ようになる。また、 <u>きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりする</u> ようになる。
社会生活との関わり	<u>家族を大切にしようとする気持ちをもつ</u> とともに、地域の身近な人と触れ合う中で、 <u>人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつ</u> ようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、 <u>遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動する</u> ようになるとともに、 <u>公共の施設を大切に利用する</u> などして、 <u>社会とのつながりなどを意識する</u> ようになる。
思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、 <u>物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりする</u> など、 <u>多様な関わりを楽しむ</u> ようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、 <u>自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりする</u> など、 <u>新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにする</u> ようになる。
自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、 <u>自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まる</u> とともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、 <u>生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切に</u> する気持ちをもって関わるようになる。
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、 <u>数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつ</u> ようになる。
言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、 <u>豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむ</u> ようになる。
豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、 <u>様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつ</u> ようになる。